

0歳3ヶ月～6ヶ月未満の発達

【体の発達】

「運動機能」

- ◇ 首がすわり始める。
- ◇ 手に触れたものを握り、口に運んでなめて確認する。
- ◇ 寝返りができ始める。
- ◇ うつぶせの姿勢で体をささえることができる。



「食事」

- ◇ 授乳感覚が定まり、1日5～6回の授乳になる。
- ◇ スプーンで湯冷ましなどを飲むようになる。
- ◇ 唾液腺が発達し、よだれが多くなる。



「排泄」

- ◇ 睡眠のパターンに昼夜の区別がつくようになると睡眠中の排尿が減り、起きているときの排尿の回数が増える。

【心の発達】

「人間関係」

- ◇ あやされたことに反応して笑う、社会的微笑が始まる。
- ◇ 人の識別ができ、特定の人からの関わりに、声を発して反応する。
- ◇ 「いないいないばあ」や「たかいたかい」などの関わりを楽しむ。
- ◇ 特定の人に対して笑顔を見せるが見慣れない人の顔はじっと見る。

「遊び」

- ◇ ガラガラなどを持たせると、しばらく持っていられる。
- ◇ 自分の手をじっと見る。
- ◇ 自発的に手を伸ばして物をつかみ、ふれて遊ぶ。
- ◇ 手や物を口に運び、なめて確認する。



【人見知り】

知らない人が近づいてきたり、抱っこしようとしたりすると嫌がる姿を見せる、人見知りが見られる時期です。知っている人と知らない人を見分ける力が備わり、家族や特定の保育者など「安心できる人」と愛着関係を築く一方で、「安心できるかどうかわからない人」に対する不安が生じます。

保育者は「大丈夫よ」「〇〇ちゃんだね」などと伝え、暖かな表情で対応します。



【社会的参照】

初めての人や場所、初めての玩具など、初めての場合において、子どもは大人の表情や発話の雰囲気から、大丈夫なのかどうかを確認します。

初めて保育園に登園する日など、保護者の不安が子どもに伝わらないよう、保育者と保護者が和やかな雰囲気を作るとよいでしょう。

※ 発達に関しては、個人差があるので目安として確認して下さい！

【この時期に気を付けたいこと】

【起きやすい事故】

◇ 転落・・・ベッド、ソファなどから落ちる



【予防ポイント】

ベッドの柵は必ず上げる

◇ ひとりでソファ、椅子などに寝かさない

◇ やけど・・・誤って上から熱い物を落とす・こぼす。熱い湯のシャワーをかけてしまう。

【予防ポイント】

◇ 赤ちゃんが近くにいるときや、抱いたまま熱いものを扱わない

◇ 風呂やシャワーは必ず湯温を確認

